

令和2年度 第2回 海老名市にぎわい振興審議会 会議録

日時等	令和2年7月30日(木) 13:00~14:35 政策審議室		
議題	<ul style="list-style-type: none"> ・「えびな元気にぎわい振興計画(第2期)」(案)について ・令和2年度 主にぎわい振興事業(案)について 		
出席委員	羽田会長、三田副会長、佐藤委員、尾崎委員、牛村委員、門脇委員、長委員、伊藤委員、三部委員、半澤委員 計10名		
公開の可否	公開	傍聴者数	0名
事務局・説明者等	海老名市長 内野 経済環境部長 金指 経済環境部次長 松本 商工課長 一杉 にぎわい振興係 係長 佐藤、主任主事 増田、長嶋		

議題1 「えびな元気にぎわい振興計画(第2期)」(案)について

■ 評価について

委員 担当課のコメントについて、総括的に事務局としてはどう捉えているか。また、どのように活用するか。

事務局 これから、担当評価と皆さまからいただいた意見をひとつにまとめ、5年間の計画の総評として反映する。次回の審議会までに作成しお示ししたいと考えているので、それまでに各委員より意見等をいただければ、都度修正をかける。また、5年計画で23施策62事業というかなりタイトな計画であったため、皆さまの評価を受けて施策・事業数ともに圧縮をかけ、整理をしたものを次の計画に反映していきたい。

■ スケジュールについて

委員 スケジュールの内容としては、第1期と変わらないか。

事務局 第1期は基本構想の策定からコンサルを入れ、その中で検討委員会を組織して計画の案を作成し、その案をもって審議会に諮問答申をしているため、今回とは方法が違う。色々な方々の意見を反映するために、商工会議所の商工業活性化ビジョン実行委員会との意見交換会や庁内の検討委員会を設けている。

■ 振興計画について

委員 現計画の内容等について、あまり市民に知られていないと感じる。まずは、市民全員が認知するような目玉の事業、シンボルを打ち出すのが大事。苺もあまり外には知られていないが、農家からすれば量産すれば質が落ちるなど問題もある。

一方で、全国展開となれば量も必要となる。それならばワイン等、市民全体に広げていくための橋渡しが必要になると考える。

委員 評価のまとめについては、とても時間がかかった。リアクションとしてどう受け止めたかを今後聞きたい。

委員 第1期を精査し、第2期を策定する場合、資源を整理し計画に落とすのは一般的である。しかし、そこに楽しみ方、具体的にどうすれば良いのか（HOW）までをアウトプットとして出せれば良いと思う。

苺についても、苺狩り、スーパーで買う、加工品として買うなどあるが、加工品であればワインやジャムにする、それを今度はどうすればおいしく食べられるのかなど、そこまでイメージして作っていければ。

委員 第2期の目玉は何かあるか。計画はお金をかければうまくいくものでもない。

事務局 まだ具体にはなっていないが、お金をかけずに市民や事業者、皆さまのご協力を得ながら、海老名市全体が賑わうような仕組みづくりをしたいと考えている。

委員 とにかく計画の中身が多い。絞っていったほうが良いのではないか。コロナの関係で生活も価値観も変わり、これがずっと続くと思う。

委員 5年から3年への計画期間の変更に伴い、施策を具体的に落とし込む必要がある。重点的な施策をいくつか絞り込み、重点的なものとそうでないものを振り分けては。コロナの影響で、パラダイムが変わる前提で計画を考えなければいけない。

委員 えびな元気ナビについて、コロナ禍ではナビを活用してお店に来ていただいた方が多かった。また、商品券や支援金もある中よくここまで資料を作成したと思う。協力できることがあればしたいと思っている。

委員 市制施行50周年について、現時点で市は何か事業を考えているか。また、第2期の計画の中で、50周年については考えていかねばと考えているが、いかがか。

事務局 市制施行50周年については、事業の1つとして計画に組み入れたいと考えている。具体的な事業の内容については、市の市制施行50周年プロジェクトチームが動いてはいたが、まだ決まっておらずこれからとなっている。

委員 プロジェクトチームで決まった内容と整合性をとっていく必要がある。

議題2 令和2年度 主にぎわい振興事業（案）について

■ おでんナイトニッポンについて

事務局より、コロナの影響により今年度のおでんナイトニッポンは中止の旨報告。

■ 元気いっぱい!!名店・名産品スタンプラリーの実施について

事務局より、昨年度に引き続き、名店・名産品スタンプラリーを下記日程にて実施する旨説明。特典については、イオン海老名店さんや半澤商店さんをはじめとした酒販組合さんなどの各店舗に協力してもらう。

<スケジュール>

実施期間 : 令和2年9月1日(火)～令和3年1月31日(日)

応募締切 : 令和3年2月28日(日)

特典発送 : 令和3年3月頃

- 委員 イオン海老名店さんや半澤商店さんが海老名に色々な取組・貢献をしていることは、市民に知られていない。頑張っている企業については、もっとPRしていきたい。
- 委員 一般的に市が「観光立市」を謳う場合、そこに住んでいる市民がそのことを理解していないといけないと思う。海老名市に立地して経済活動に取り組んでいる企業が市民にとってどういう存在か、今度の計画に盛り込みたい。市民の意識を考えることは必要。
- 委員 海老名としてのイメージ・ブランドがあって、その下に個別の施策がついてくるようなイメージが良いと考えている。